

こまが聞きたい

新たな農業・農村政策への対応は

町長 生産者の方が不安を抱き混乱を招くことのないよう、情報の収集と速やかな提供に務める



小口尚司議員

農家の所得確保に向けた対応は

小口

農家の所得確保のための白鷹町地域水田フル活用ビジョンの特徴と推進策は。

産業振興課長

地域の特性を生かした産

地化を行うため、振興作物15品目を選定して助成を行いながら、水田の畑地化整備も視野に入れ作物転換をはかつていく必要がある。食用以外の米は受け手側と安定した需給体制を確立していく。

新たな制度の有効活用と周知は

小口

日本型直接支払制度を中山間地域の担い手の掘り起こしのため、有効に活用すべきだと思うが。

産業振興課長

まずは地域において今後

誰がどのように農地を維持していくかを地域内で話し合いたい。ただ、これが重要。

町長

法の整備あるいは要綱の整備等を見定めたい。対応していく。

小口

申請のための事務管理を含めた説明会の予定は。

産業振興課長

申請事務はなるべく簡易

な様式を国で検討しているというところはあるが、地域での不慣れた事務作業は大変だと感じている。今後、県から具体的な情報提供を受けて説明会を開催していく。

新機構の受け皿と人員体制は

小口

農地中間管理機構の業務の受け皿と人員体制は。

町長

町、農業委員会、農協、農業再生協議会などが考えられるがそれぞれ一長一短がある。人員体制は予算の裏付けも必要になるので、今後、関連法案の施行を受けて受け皿の整備と人員体制を検討していく。

耕作放棄地解消に向けての機械導入は

小口

耕作放棄地解消に向けて、大きな礫を砕く機械の導入を検討しては

産業振興課長

その機械を誰が購入し、メンテナンスをしながら、作業料金をいくらにするのかなど

の詳細な確認をしたうえで支援を検討していく。



田植風景

※1 水田フル活用ビジョン／地域の作物振興の設計図となるもので、ビジョンの作成が交付金による支援の要件となる。

※2 日本型直接支払制度／農業の農産物生産以外の機能を維持するための地域活動や営農活動に対して支援する制度。

※3 農地中間管理機構／農地の貸し手と借り手の間に入り、地域の農業の担い手への農地利用の集積・集約化を進めるためのもの。